平成30年度 第１回安曇野市スポーツ推進委員会代表者会議 会議概要附属機関等の名称　会議概要

|  |
| --- |
| １　委員会名　安曇野市スポーツ推進委員会  ２　日　　時　平成30年８月21日（火）　午後7時00分から午後9時00分まで  ３　会　　場　安曇野市役所本庁舎３階　理事者側控室  ４　出席者　（豊科地域）内川、丸山  （穂高地域）眞嶋  　　　　　　（三郷地域）松田  　　　　　　（堀金地域）臼井、下川  　　　　　　（明科地域）赤羽、丸山　　　　　※出席者：８人  ５　欠席者　　２人  ６　市側出席者　臼井生涯学習課長、スポーツ推進担当係長　布山  ７　公開・非公開の別　　公開  ８　傍聴人　　０人　　　　記者　　０人 |
| 協　　議　　事　　項　　等 |
| １　会議の概要  １　開会  ２　あいさつ  ３　報告・協議事項  （１）第２次安曇野市スポーツ推進計画研修会の日程及び進め方について  （２）安曇野市スポーツ推進委員研修会について  （３）安曇野市スポーツ推進委員組織の方向性について  （４）各要望について  （５）その他  ４　事務局連絡  ① 東京2020大会広報用バッヂの配布及び全国スポーツ推進委員連合会員証(新規)・シール(継続)  の配布  　　② 全国スポーツ推進委員功労者被表彰者の決定（臼井良臣 委員）  　　③ スポーツ推進委員活動報告書(前期)の提出→９月７日(金)まで(持参・郵送・メールのいずれ  か)  ④ 「信州チャレンジスポーツＤＡＹ2018」運営班員名簿の提出及び第２回運営班会議の開催  　　⑤ ジャージの購入→９月下旬発注予定  　　⑥ 報酬の支払い(第１回)10月  　５　その他  　６　閉会  ２　報告・協議の概要  （１）第２次安曇野市スポーツ推進計画研修会の日程及び進め方について（会長より説明）  　　委　員：進め方については、計画の中で特にスポーツ推進委員に取り組んでもらいたい点を項目で挙げ、重点的に説明していただきたい。  　　委　員：10年間という長い期間で進めていくため、少しずつ身近な所から進めていかなければならない。そのためには、全体での勉強会も必要。  　　会　長：市から、スポーツ推進委員としてどのように取り組んでもらいたいのかを訴えていただき、それに対して委員から意見があれば検討していただきたい。一度全体での研修会を開催し、必要があれば補足の研修会を設けるという形で進めてはどうか。  ●研修会の日程は、10月14日(日)開催の各地域の運動会が過ぎてからが良いという意見で一致し、具体的な日時については、内川会長と事務局とで調整することとした。 |

○○審議会　会議概要○○審議会　会議概要

|  |
| --- |
| 協　　議　　事　　項　　等 |
| （２）安曇野市スポーツ推進委員研修会について（担当委員より説明）  マイクロバス・ワゴン車での送迎について調整後、試合方法について協議。  　　委　員：試合は地区対抗のチームで行うが、トーナメント戦と総当たり戦どちらが良いか。  　　委　員：総当たりで良いのではないか。  　　委　員：15点先取の総当たり戦とし、組合せについては担当（明科）で決めさせていただく。  　（３）安曇野市スポーツ推進委員組織の方向性について（会長より説明）  　　委　員：他の各市町村でも部会のような形で活動をしている。委員が一堂に会してミーティングを行うことは難しいため、いくつかの部会に分かれて様々な活動を検討していくべき。総合型地域スポーツクラブについても、委員はしっかりと理解しているのか。会費がどうなっているかなど、より具体的でより身近な内容を知っていくべき。スポーツ推進計画にある目標参加人数の達成に向けても取り組んでいかなければならない。また、スポーツ推進委員がどんな活動をしているのか、市民に向けての広報活動もしていかなければならない。  　　委　員：各地域での活動について、その内容や、他の地域の協力が必要な部分、活動が不足している部分を確認し合うべき。市民の理解を得るためにも、市全体としての活動を模索していく必要がある。事務局には、県内の各市町村のスポーツ推進委員がどんな活動をしているのかを調べてもらいたい。  　　会　長：実質的な活動ができる、全体を統一・調整していくような部ができれば良いと思う。  　　委　員：地域の公民館と連携して活動していくにも、各公民館の担当者によって考え方が違う。  　　委　員：委員個人が教えられる種目に活動が限られてしまうため、委員を選ぶ時から考慮して決めなければならない。  　　委　員：学校等からの依頼で教室をやるにしても、平日仕事を休んで行くのは難しい。土日であれば、自分が教えられない競技であっても手伝いには行ける。  　　委　員：依頼されたから教えに行くという事だけでなく、委員としてスポーツ事業のイベントの計画・立案に重きを置いていなければ、役目を果たしていないと思う。  事務局：昨年度まであった部をベースにして考えるのか。反省点等はあるか。  会　長：部をつくってから２年しか経過していないため、実質的な活動はまだしていない。これまでの経過を踏まえた上で、部をつくる方向で考えてもらいたい。  （４）各要望について（箇条書き）  委　員：スポーツの用具が不足している。足りない部分を調査して、少しずつ補充して欲しい。  委　員：今ある道具についても、何がどこにいくつあるのかわからない。全市的に把握し、整備して欲しい。  事務局：担当係でも、各地域の体育館に何がいくつあるのか把握ができていない。公民館の職員の方が詳しく把握している部分もある。不足している用具を報告していただければ、探したり、予算化を考えたりしたい。事業を計画して、それに必要な用具を報告していただければ、予算を割くこともできる。  委　員：各公民館等にも確認して現状を把握し、管理台帳を整えて欲しい。  委　員：新総合体育館にどのような設備を揃えるか検討する際に、体育協会やスポーツ推進委員の意見も聞いて欲しい。 |

|  |
| --- |
| 協　　議　　事　　項　　等 |
| 事務局：備品については、パブリックコメント等で体育協会からも要望をいただいている。各団体と調整して必要な用具を揃えていきたい。また、運営体制についてもどのような方法を取るのか、ご意見を伺いたいと思う。  委　員：最近の猛暑で、体育館がものすごく暑い。アリーナの下の方にある窓を開けたいが、既存の体育館には網戸がついていないため、夜は虫が入ってきてしまう。空調設備は難しいと思うが、網戸くらいはつけられないか。  事務局：どこまで対応できるかはわからないが、暑さ対策については検討していきたい。  委　員：県の研修会は毎年必要なのか。県は２年に一度にして、中信だけ（地区ごと）で行えば良いのではないか。会長が県の会議等に出席した際に、意見として出してもらいたい。  委　員：施設の使用料について、スポーツ少年団等が使用する際の全額減免はやめた方が良い。全額減免であると、予約のキャンセル等を行わない団体も出てしまう。今後施設の維持管理をしていくためには、使用料を払うことを原則にしなければならない。  事務局：施設の管理人からもそのような指摘をいただいている。議会でもそのような指摘が出ているため、優先的に予約ができる点の見直しも含め、今後検討していきたい。  （５）その他  　　特になし  ※その他、事務局から事務連絡を行い、会議終了。 |